



# 濟生会ニュース

平成25年1月1日発行 三重県松阪市朝日町一区15番地の6 電 0598-51-2626代／ fax 0598-51-6557  
<http://www.matsusaka.saiseikai.or.jp>

- 地域医療支援病院
- 三重県がん診療連携推進病院
- 災害拠点病院
- へき地医療拠点病院

院外版



## 新年のごあいさつ

院長 諸岡 芳人

新年明けましておめでとうございます。  
 皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

濟生会へ行けば安心して医療を受けられると言われる様に  
 今年も職員一同頑張ります。



平成24年は、これまでの地域医療支援病院、へき地医療拠点病院、がん診療連携推進病院に加えて、災害拠点病院の指定を受けました。DMAT(災害派遣医療チーム)も出来、万が一の時被災地に駆けつける準備が出来ました。診療面では、緩和ケア病棟がオープンし、脊椎センター、脳神経外科に血管

内治療科、脳卒中ケアユニット、消化器センターを立ち上げました。アンギオ装置(シーメンス社製)の更新、エコー超音波診断装置の更新や腹腔鏡下手術装置の増強なども行い、多忙な1年ありました。お酒造りで言えば、「仕込み」の年であったかと思います。そして平成25年からは、この新しい取り組みを成長させていく、酒造りで言えば「熟成」の期間であると考えています。

世の中を振り返ると、ロンドンオリンピックではボルト選手のすごい走りなど世界の一流選手の躍動する姿を見ることが出来ましたが、一昨年の「なでしこジャパン」ワールドカップ優勝の様に日本人選手の活躍はより嬉しいものです。国民栄誉賞を授与された吉田沙保里さんのレスリング勢や多くの日本人選手の活躍で約2週間大いに楽しませてもらいました。ナショナリズムも高揚しましたが、もう一つ日本人のナショナリズムが高まった出来事が尖閣諸島問題でした。

ナショナリズムと言えば、日本の誇り、京都大学の山中伸弥先生がiPS細胞の研究によってノーベル生理学・医学賞を受賞されました。本当におめでとうございます。このiPS細胞が早く臨床応用されることを待ち望んでいますが、安全に使われるようになるには、まだまだ多くのハードルを乗り越えなくてはならないようです。

さてこの素晴らしい話の傍で、マスコミを振り回したiPS細胞にまつわる話がありました。米ハーバード大客員講師と名集るM氏という世紀の大ペテン師が現れ(北杜夫調)、iPS細胞を心臓に移植したという情報をマスコミに流し、大きな話題になりました。テレビ画面で見ると、普通のおじさんと言う風貌でしたが、記者の皆さんに詰問されても意外に粘り強く取り繕う所はなかなかしたたかでした。成果が出なかった研究者が地位と名声を得たいがための行動ではなかったかとの説もあり、研究者としての焦りが原因とすれば、一抹の哀れを感じます。

所で、この「偽iPS心筋移植」騒動について、ある論評では、これをスクープとして報道した新聞社と報道しなかった新聞社とがあり、あせって報道した方は後日お詫び記事を掲載し赤っ恥をかき、報道しなかった方は情報を入手しながらも記事にしなかった理由を勝ち誇ったように掲載していたそうで、報道をめぐる勝者と敗者の明暗がこれほどまではっきりしたことは珍しいと書かれていました。報道の力と言うのは非常に大きく、「ペンは剣よりも強し」と言われるように政治を動かし、国を動かす力を持っていると言えます。つい先日も今回の国政選挙で大きな旋風を巻き起こすかと言われていた「浪速の志士←誰かわかりますよね」の生い立ちなど個人情報を含めた週刊誌記事が出て、最後は報道側が謝罪をしたという出来事がありました。報道には眞実、公平、理性、抑制が求められると思います。

さて国政、市政と選挙が続けます。ここ何年間かの国政に関して、選択した我々国民にも責任があります。何とか無料化、何とか手当支給、お金は埋蔵金で何とかなる。釣った魚に餌はもらえませんでした。乞う賢明な選択を。でも去る11月14日の党首討論での野田首相の気迫に満ちた論戦は非常に良かった。さて選挙の結果はどうなったでしょうか、自公がどこまで盛り返すのか、「浪速の志士」と「江戸のべらんめい」連合がどんな結果になったか興味津々です。

今年は縁起が良いと言われる巳年、皆様が良い事尽くしの1年である事を祈願いたします。



# 厚生労働大臣表彰を頂いて



このたび、「厚生労働大臣表彰」を頂きました。身に余る光栄と恐縮しております。

私は18年前、助産師業務の一環として、地域に新生児訪問に伺っていました。それが御縁で、保健師から、子どもたちや保護者向けに性教育についての講義依頼が舞い込みました。小さな規模の母親教室しか経験のない私に何が話せるだろうかと最初は戸惑いましたが、助産師として、命の現場で出会ったかけがえのない経験、生命の誕生までの一連の経験を嘘のない真実だけを伝えようと心に決め、今まで継続してまいりました。

毎回出会う地域の子どもたちの瞳は、いつもキラキラと輝いています。今では子どもたちに会える事、その瞳に見つめられる事が私の喜びとなりました。今まで

2棟6階 助産師 山本 久代

で約550回の小、中、高の学校を訪問し、多くの子どもたちや保護者に巡り合いました。

性教育と言えども千差万別で、アカデミックな内容からTVや週刊誌、エッチな本まで色々な物がたくさんあります。しかし、性教育の一番の真ん中には「奇跡の確率であなたが生まれてきたのだ」と伝える事にあります。そして「性」とは、りっしんべんに生きる、心が生きる、心が楽しいという教育です。決してエッチな話ではなく、相手を愛しく思いやることで自分の心も温かくなれるのが性教育です。自分の命を大切に、お友達の命を大切に、パートナーの命を大切にと、私は「命」の大切さをずっと語り続けてきました。そして、これからも変わらず続けていきたいと思っています。

私が厚生労働大臣表彰を頂くことができましたのは、縁あって済生会病院に勤めさせていただいたおかげだと思います。病院の方々や今まで私を支えて下さった全ての皆さんに心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

## おくすり通信

済生会松阪総合病院 薬剤部



★★

### 今回は正しいうがいについてお話しします

冬の季節を迎え、寒い日が続きます。今回は風邪の予防の基本である『うがい』についてお話しします。

#### ★うがいの目的

- 1. のどの粘膜にいる菌やウイルスを洗い流す
- 2. 口やのどの乾燥を防ぐ

のどの粘膜には、菌を殺菌力の高い胃へ送り出す働きがあります。口や喉の粘膜が乾燥しているとこの働きが弱まり、風邪を引きやすくなります。そのため、うがいによって口や喉の乾燥を防ぐと良いと考えられます。

#### ★水道水とうがい薬の使い分け

- ◆健康な方は水道水でうがい⇒食べ物のかすを取り除いて口の中を湿らせるのが主な目的です。
- ◆体調を崩している・疲労の溜まっている方は、場合によりうがい薬でうがい⇒人の口の中には常に細菌が存在しています。この細菌が、外から病原菌の進入を防ぐバリアの役目を果しています。体調を崩している時は、この細菌のバランスが崩れて病原菌が増えています。こうした時は、殺菌作用のある「イソジンガーグル液」などのうがい薬が効果的な場合があります。

#### ★うがいの手順は3段階!!

(水道水とうがい薬のどちらでも手順は同じ)

- ①クチュクチュうがい  
正面を向いたまま、「クチュクチュ」して吐き出す。口の中の食べ物かすなどを取り除きます。
- ②ガラガラうがい  
上に向いて、のどの奥まで水が届くように約15秒「ガラガラ」して吐き出す。  
息が続かない場合には、一度正面を向いて鼻で呼吸してください。
- ③ガラガラうがい（2回目）  
②をもう1度行って終了。

#### ★当院で採用している主なうがい薬

- ◆イソジンガーグル液⇒殺菌作用があり、主に風邪の予防や口の消毒に使用します。
- ◆含嗽用ハチアズレ顆粒・アズノールうがい液⇒炎症を抑える働きがあり、主に口内炎に使用します。殺菌作用はありません。

\* うがい薬は必ず使用しなければならないわけではありません。水道水でも、うがいの効果はあります。詳しくは医師や薬剤師に相談してください。

何かご不明な点があれば薬剤部までお尋ねください。



